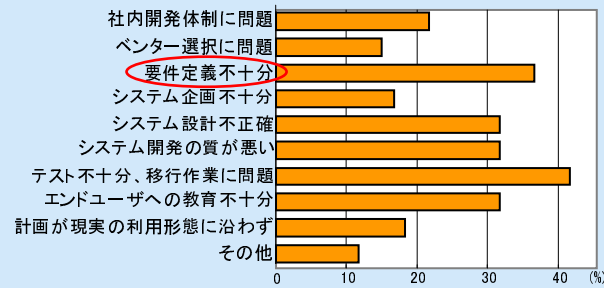


セキュリティ要件定義が必要となる背景

昨今、システム構築での要件定義工程の重要性が認識され、主に機能面の要求について要件定義が実施されるようになりました。しかし、非機能要求は機能面の要件定義ほど重要視されていないのが現状です。

非機能要求のうち特にセキュリティ要件は要件定義時にセキュリティ対策方法を固めず、後工程で実施しようとした場合、多大な手戻りが発生することが考えられます。

ゆえに、要件定義時にセキュリティ要件定義を確実に
行う必要があります。



(出典) 日経コンピュータ(2008/12/11号)：第2回プロジェクト実態調査(平成20年8月～9月)

セキュリティ要件定義を実施することのメリット

- ◆個々に(サーバ毎など)セキュリティ対策を実施すると対策がバラバラになり非効率的ですが、システム全体を俯瞰した上でセキュリティ対策を実施すると一貫性があり効果的な対策を策定できます。
- ◆後工程においてセキュリティ対策を実施しようとする
と多大な手戻りが発生しますが、要件定義時に策定
することでムダのない対策が策定できます。
- ◆システムで強制するセキュリティ対策を予め織り込
むことで、システム運用時における人為的ミスを最小
限にできます。

セキュリティ要件定義支援サービス

「セキュリティ要件定義支援サービス」はお客様が各種基準(FISCやPCI DSSなど)、法対応(内部統制など)などの各要件に基づいてシステム構築する際に、セキュリティの要件定義策定をご支援するサービスです。

<サービスの特長>

各要件や既存のセキュリティポリシーなどに基づいた要件定義策定をご支援

各要件と既存のセキュリティポリシーなどとのFit/Gap分析により課題を抽出、解決し、当該結果を反映した要件定義策定をご支援いたします。

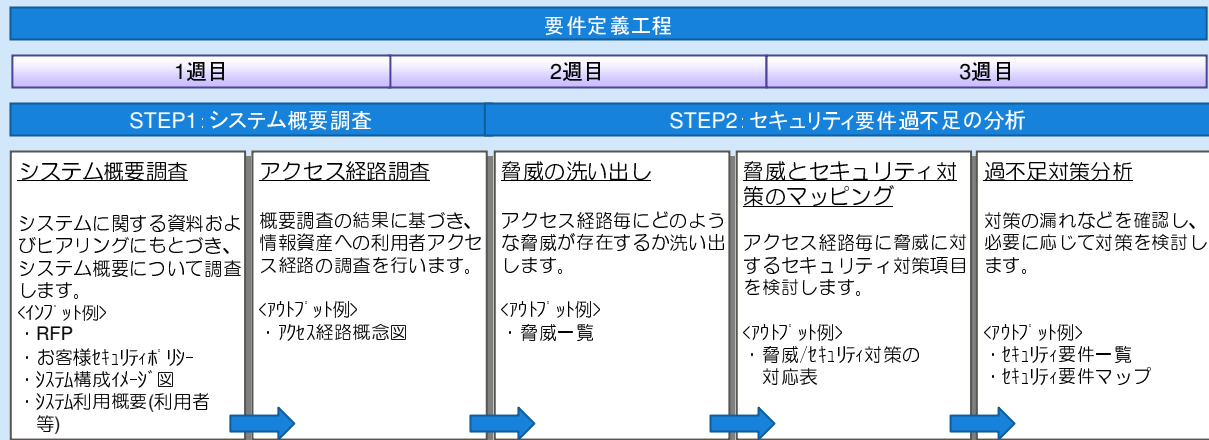
世の中の動向にあわせたセキュリティ対策をご提案

課題解決にあたり、世の中の動向にあわせた最適なセキュリティ対策をご提案いたします。

ITIMAPに基づいたご支援を推進

富士通の汎用的な作業標準モデルであるSDEMに基づき、実践的な内容を加えたITIMAP
 (「社内向けシステム基盤実践標準」)を用い、生産性向上や成果物の信頼性向上を図ります。

<作業フロー案> ※本作業におけるスケジュール例です。システム開発の規模、体制により調整いたします。



【お問い合わせ先】 株式会社 富士通九州システムズ (FJQS)

東京オフィス 〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-16-2 テクノポート三井生命ビル9F

Tel. 03-5703-7028 Fax. 03-5703-7050 (担当:セキュリティセンター)

大分事業所 〒870-8551 大分県大分市東春日町17-58 (ソフトパーク内)

Tel. 097-534-8119 Fax. 097-535-1064